

高山市資源リサイクルセンターが今年2月に供用開始



高山市資源リサイクルセンターの全景。今年2月の供用開始以来、安定稼働が続く



直井哲治課長

岐阜県高山市の『高山 施工』は在原環境プラント市資源リサイクルセンターが担当した。焼却炉には『が、今年2月から供用開始』、安定稼働を続ける。同センターは処理能力95t/日(47.5t日×2)のストーク式焼却炉と10t5hの可燃性粗大ごみ処理装置で構成された900kWの蒸気タービン発電機を備える。施設設計・

○

技術面重視で
事業者を選定

施設の建設を検討しましいう。その後、21年にごみ処理施設基本計画を策定、22年5月に入札公告を行い、2月に入札から、学識経験者と地元代表等で構成する検討委員会に決定。11月に入札結果が公表され、12月に工事に関する技術的提案が

高山市の「高山市資源リサイクルセンター」が今年2月に供用を開始した。同センターは旧施設の老朽化にもない建設されることになったが、環境意識の高まりもあり、施設の設計・施工は住原環境プラントが担当し、処理能力95t/日(47・5t/日×2)のストーク式焼却炉として年間2万2千85tのごみ処理を計画している。新施設では発電を行っている。また、災害などに備えて非常用発電機も設置しており、災害等の電源途絶時にも自立運転が可能な設計としている。施設内には地元産の木材が内装やベンチ、環境学習のための最新鋭施設を現地取材した。

荏原環境プラントが施工

災害時の自立運転が可能な施設に

最高水準の規制値に対応



焼却炉の内部。エバラ HPCC21型ストーカを採用している



計量機を2台設置し混雑を緩和。キャッシュレスも含めて、その場での料金の支払いが可能になるなど市民の利便性が向上した

評価も高かったと言えます。フニン以外の要素では、高山市の実業家が対応できる部分については任せていただいたところも、評価にながつています」と、地元配慮も重要な評価ポイントだったと語る。

新施設建設にあたっての基本方針は、①周辺環境への対応、②熱エネルギーの開始で指定避難所に新たな施設では、日最高レベルの環境性能エネルギーの有効活用、高い災害対応能力、清く使いつける施設、環境について学ぶ施設などが特徴として掲げられているが、直井課長はこれでも、環境性能が特に

発電の開始で
指定避難所に

キャッシュレ決済を導くなど、直井課長は「耐震性能は段段に向上しています。また、発電用車が車から降りることなくスムーズな積算が可能となり、場内の海難緩急と待ち時間の大幅な短縮を表現した。これによって直井課長は、「計量用発電機を台にしたほか、自立運転を継続したことで、現場の料金の支払いやキャッシュレスにも対応しています。場内の動線、二つのメリットを挙げ、ちい、くるみ、けやき、が集まりそうだ。

「耐震性能は段段に向上しています。また、発電システムによりNO_xをも、いろいろな協力して、低減できる。今は環境、いきたいと思っています。この後も運転委託業者との協力関係が大切になると、消石灰ではなく重曹を用いた。

日本一広い面積を有する高山市のごみ処理を担う高山市資源リサイクルセンターの今後注目

[illegible]

厳しい基準を
技術でクリア

新施設では、在原料環境の結果、在原料環境プラン
トが独冒開発したトにお願いしています
また、供用開始から半年
程度ですが、しっかりと
対応いただいています
今後、数十年にわたる安
定稼働を続けていく必要
がありますので、現在はその
ベースを築く大切な時
刻です。さらに低質
の燃焼が維持できるこ
と、小規模施設が本規
格に劣化して最も適
当な質が変化してき
ていくことが、同プラ
ントが採用されている
力があることを示して
います。また、同プラ
ントは、同プラントが
採用されている力有
ることを示しています
また、同プラントが
採用されている力有
ることを示しています



高山市の指定避難所となり、防災備蓄庫も設置している

る。そして、「そのため
この施設は災害時の市の
指定避難所にもなってい
ます。防災備蓄庫や浴室
もあるため、季節を問わ
ず、安心して避難できる
施設となっています」
高、災害対応能力を有し
た施設であると話す。

そして、環境学習につ
いても、「大型スクリー
ンでの解説や各種動画
、木製のバスルやタアレ
ッドによる分別ゲームな
ど、大人から子供まで、
楽しみながら環境につ
いて学ぶように工夫され
ています。新施設ではご
みを処理するだけではな
く、資源化や分別の重要
性についての市民の理解
醸成にもつなげていきたく
いと考えています」とい
います。

環境学習施設としての役
意義を理解してくださっ

さう、せん、なら、
な、ほおやが、地元事業
者の施により各所に活
用されている。木製の手
すりやリアアフロイトイ
レが設置されているほ
ろ、施設外の凹凸がで
きただけ排除されてお
り、デザインも含めて、
さまざまに優しい配
慮が施されている。

同社の評価について
直井課長は、「提案の段
階からの意向をくんで
いただく、期待していた
以上の素晴らしい施設が
出来がりました。特に
環境性能については、非
常に厳しい基準を設けて
てくれています。デザ
インなども含め、



日々の暮らしから出る“ゴミ”が
資源やエネルギーとして循環する、
そのような持続可能な社会を
実現していきます。



荏原環境プラント株式会社

〒144-0042 東京都大田区羽田旭町11-1 <https://www.eep.ebara.com>